

令和 4 年度 学校評価 自己評価書 (3 学期)

1 学校の重点目標

1 学力向上	2 人間力の向上	3 体力・気力の向上
4 地域・郷土に開かれた学校	5 GIGA スクール構想の実現	

2 課題と改善策

(1) 教育目標について

具体目標 (校訓)	評価の観点	職員
ア 考える人 (英知)	めざす生徒像	3.1
イ 心豊かな人 (情操)	めざす学校像	3.2
ウ たくましい人 (健康)	めざす教師像	3.1

(2) 実践 5 項目について

評価の観点	職員	評価結果と改善方策
ア 基本的な生活態度の定着	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 本校の誇りである「元気な挨拶」の継続とともに、生徒会活動等を通じて自治的能力の育成を推進する。 「無言清掃」の励行と学びに適する教育環境をこれまで以上に整備していく。
イ 学力の向上	2.9	
ウ 勤労、協調の精神の高揚	2.9	
エ 礼儀と正しい言葉づかい	3.4	
オ 環境の整備、美化	2.9	

(3) 学年・学級経営について

	評価の観点	職員	評価結果と改善方策
学年経営	ア 学級目標の具体化・実践化	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 企画委員会等で情報共有を図る。 学校行事や保護者会、メール等を活用し、学校への保護者の理解と協力について促していく。
	イ 学年の連携・一貫性		
	ウ 他学年との連携		
	エ 保護者との相互理解、連携		
学級経営	ア 学級目標の適正化	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 問題行動や不登校の生徒への手立て (報告書作成や関係機関との連携等) について担任と副担任の役割分担を再確認する。
	イ 学級目標の具体化・実践化		
	ウ 学習意欲向上の配慮		
	エ 学級内相互の信頼関係		

(4) 努力点について

評価の観点	職員	評価結果と改善方策
ア 学習指導の充実	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ICT 機器を活用した授業の構築を図るとともに、不登校生等へのリモート授業を全学年で推進する。 生徒指導及び不登校に係る委員会の更なる充実と共通理解及び実践を図る。 特別支援学級の実態 (教育課程や生徒の様子) を把握し、共通理解の場を設定する。 マイリフレッシュディの確実な実践及び see-smile の効果的な活用が定着し、超過勤務時間が減少している。
イ 道徳教育の充実	3.0	
ウ 生徒指導の充実	3.2	
エ 保健・安全指導の充実	3.2	
オ 進路指導の充実	3.2	
カ 人権同和教育の充実	3.2	
キ 特別支援教育の充実	3.2	
ク 教育環境の整備と美化	3.1	
ケ 情報教育・国際理解教育の推進	2.9	
コ 地域に根ざした学校、開かれた学校づくりの推進	3.0	
サ 業務改善の推進	2.6	

3 次学期に向けての取組

(1) 教科指導について

- ア 学習定着度調査や公立高校入試問題等の分析から授業改善に努め、基礎学力の定着を徹底させるとともに学力向上についてより課題意識をもって各教科で実践する。
- イ 授業者がより ICT 機器の有効活用を図るとともに、全学年でリモート授業を実施する。また、生徒の学習への自発的な取組みを促すとともに、特に思考・判断・表現力を育成すべく本校独自の授業スタイルを構築する。

(2) 生徒指導について

不登校生向けの進路学習や ICT 機器の使用について学習会を設定する。また、SNS 等の使用方法について継続的に指導することで、いじめや問題行動等を未然に防ぐ手立てを講じる。